



浦島 正之 (大通公園まちづくりセンター 所長)
 久道 義明 (桑園まちづくりセンター 所長)
 桑原 和彦 (札幌市教育文化会館 事業課)
 鎌田 賢司 (サッポロ・クリエイティブ・ファーム 代表)
 森 みちこ (ミニ大通倶楽部 代表)

まちの資源再発掘プロジェクト vol.7

ローカルなフリペ座談会

近所かわら版『Eee』（旧みっちゃん便り）、西11丁目エリアのコミュニティペーパー『ABC Letter』、札幌市教育文化会館の広報誌『楽』内の人気コーナー『おいしい散歩道』。個性豊かなこれら3紙の代表と、まちセン所長とで座談会を実施!面白さを感じる部分や悩める部分を語り合う中で、お互い、新しい情報発信のヒントを発見した様子。

森:フリーペーパー制作歴は、『Eee』の前身である『みっちゃん便り』を入れると、かれこれ6年になります。会社勤めをしていた頃は地域に関心を持つ機会がなかったのですが、退職して家にいる時間が長くなったことで、自分の暮らす地域や人と全然つながりがないのは、少しおかしいんじゃないかなと思いはじめた。一人でも知り合いができたらいいなと思って、手書きの新聞を始めることにしたんです。

鎌田:僕も大通地区に事務所を構えて8年になりますが、なかなか近隣の方と知り合う機会ってないですね。もっとまちの

情報を知りたいと思って、2年前にお店を数軒取材させてもらったことが、『ABC Letter』を作り始めたきっかけです。

桑原:3年前に教育文化会館に来た直後は、この界隈にあまり人の匂いを感じられなくてとまどいましたが、だんだん魅力あるお店が点在していることがわかってきて。当館のホールメイト会員に向けたサービスを一緒にできないかなと思って、一軒一軒自分でお願いで回って、広報誌『楽』の中の1コーナーとして2年前に手探りで始めたのが『おいしい散歩道』のリニューアルでした。現在『おいしい散歩道』で近隣のお店を紹介しながら、飲食店やホテル、保育園、花屋さんなど19店舗と提携しています。

久道:情報発信という点では、まちセンにもHPがありますが、ターゲットを絞った濃い内容というより、広く薄い情報発信になりがち。これからは、ただ発信するだけではなく、いろいろな情報を紡いでいくことが必要かなと思っています。

浦島:大通公園まちセンでは大通地区と本府地区、そして中央地区と3つの連合町内会を管轄しています。居住している方が非常に少ない地域なので、誰に対してどんな情報を発信していけばいいのか、今いろいろと考えているところです。皆さんがそれぞれ続ける中で、手応えを感じた部分や逆に模索している部分を聞けるとありがたいです。

発信している人の顔が見えると、受け止め方が違う

森:『Eee』にリニューアルしてからの第一号で、伝言板のコーナーに「15丁目あたりのマンションの管理人さんが、いつも元気に挨拶をしてくれて嬉しい」という声を載せたんです。そうしたら、それを見た管理人さんが「もしかして、自分のことだろうか」と連絡をくれて。「すごうれしかった」と。こういう何気ないことを掲載できるのも、ローカルな媒体ならではののかなと。素人集団で作っている他愛もない情報発信だけど、小さなつながりを作ることができたり、いろいろな方のお話を聞けたりするのは面白い。

鎌田:そういう反応があるとうれしいですね。逆に僕たちの場合は、何か明確な手応えのようなものって、まだ感じていなくて。どういう情報が求められているのか、今ひとつわからない。本当は、情報を発信したい人に手を挙げてもらって、そこに僕らが行って取材させてもらう方がありがたいんですけど……。

浦島:例えば大通地区ということ言うと、街並がどんどん変わっていく中で、ここで生まれ育った方々が、地域の歴史を伝えることのできる場があるといいなと思うんですよね。そういう部分で、何か連携できるといいかもしれません。

桑原:劇場も、地域の方々が気軽に足を運ぶことのできる仕組みを、作っていかないといけないなと思っています。地域のコミュニティを、公共がどういう形でサポートしていくの

か、市民とのコミュニケーションが今後の大きなテーマになるのではないのでしょうか。『楽』としても、より多くの市民に劇場の魅力が伝わるような工夫をしていければ。

森:これからは情報交換を密にして、お互いの媒体を上手に使っていけるといいですね。

鎌田:「続けていく意味があるのかな」と悩むこともありましたが、続けてきたからこうやって皆さんとお会いすることができた。今日はいろいろなお話が聞けて良かったです。

浦島:数多くある情報も、発信している人の顔が見えると、やっぱり受け止め方が違う。まちセンとしても、地域の方々にそういう情報提供の仕方をしてみようと思いました。

久道:皆さんのように、例え小さくても、自分たちにできることを考えて活動されている方々がたくさんいるまちって魅力的だと思います。まちセンでもそれらの人たちの活動や情報を紡いでいながら、地域の物語を作っていけるといいですよ。何か面白いことができそうで、これからが楽しみです。

※ご紹介したフリーペーパーは、大通公園まちづくりセンターと桑園まちづくりセンターでも入手可能です。その他の設置場所については、直接問い合わせ頂るか、各HPをご参照ください。

『Eee』 E-mail: eee-soen@freeml.com

『ABC Letter』 <http://abc-letter.net/>

『楽』 札幌市教育文化会館ほか市内各区役所、区民センターで入手可能。教文HPには誌面(PDF)も掲載されています。 <http://www.kyobun.org/>

大通公園まちづくりセンター

札幌市中央区北1条西9丁目(リンケージプラザ1階)
TEL 011-251-6353 8:45~17:15

桑園まちづくりセンター

札幌市中央区北7条西15丁目
TEL 011-621-3405 8:45~17:15

まちセンINFO

地域のまちづくり活動の拠点となるのが「まちづくりセンター」。地域の方々の活動がうまく進むよう支援したり、必要な情報を収集・提供したりしている。その他にも、地域で活動する団体をゆるやかに結びつけた「まちづくり協議会」の設置・運営のサポートや、身近な所では住民票などの諸証明の取り次ぎサービスも。詳しくはホームページを見てみよう。
<http://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/>